

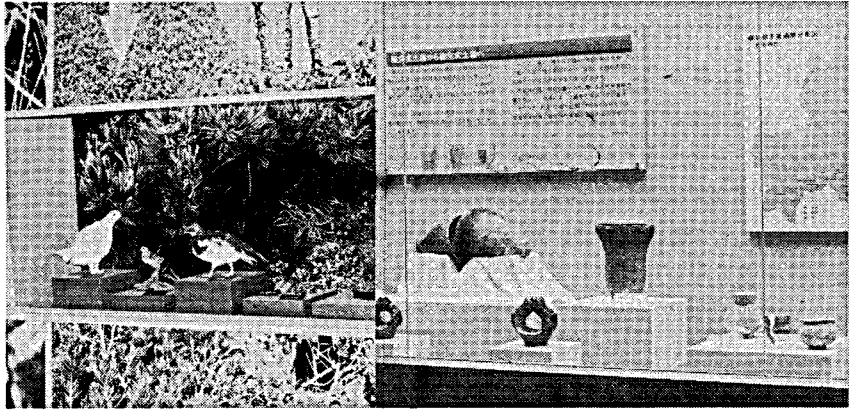
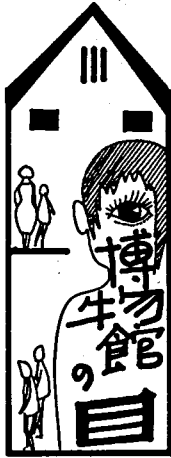
No. 54

1981.

6. 26

岐阜の博物館

▽501-32 関市小屋名
(百年公園内)
岐阜県博物館内
岐阜県博物館協会
TEL(05752)8-3111(代)
振替 名古屋 37909



常設展は永久不変のものだろうか

博物館は、一度見学したらもうそれで終わり、ではいけない。一度ならず二度三度と訪れるものだとしてよく云われます。利用者側にとっても、博物館は展示室見学利用にとどまることなく、情報センターとして、主体的な学習、調査研究にと、幅広い多角的な活用をすべき社会教育の最良の場であることは当然のことです。しかし、現実には、常設展示室を利用することが最も一般的な博物館利用です。博物館が、より多くの人々を引き付けるのは、何といっても常設展示の内容であり、そこに出ている資料の質的な良し悪しでしょう。

多くの博物館には、常設展示として、何かの主テーマにそった流れのあるいわば概論的な展示がなされているのが普通です。その地域の、その場所の歴史や自然のおいたち、あるいは自然の姿などが主テーマとなっています。しかし、常設展示だからといって、一度つくられたら永久不変、いつ行っても同じ資料が並び同じ図表・写真、少しも変わっていないというのでは、常

に、多くの一般の人々を引き付けることはできません。テーマや全体の流れ、課題は不変であっても、そこに登場するものやその他の資料は、可能な限り展示替えされるのが本来の姿ではないでしょうか。すぐれた小説、名作は、何度も何度も映画化され、その都度人気を博して多くの観客を動員します。俳優が変われば、新鮮な気持ちでその物語にウットリとします。展示室の「もの」こそ、この俳優にあたるドラマの主人公であり登場人物です。博物館は、収蔵庫に「もの」があることが生命線であるといわれるのは、単なるものの保存機能だけのことではなく、常設展示室へ出演し、常に新鮮な常設展示を行うためでもあるでしょう。

日一日と進展する調査研究成果を反映し、テーマ、課題の流れを支える常設展示内容を、展示替えすることこそ、多くの人々に一度ならず二度三度と足を向けさせる基本ではないでしょうか。

(J・M)

萩原町禅昌寺
歴史民俗資料館

▽ 509-25 益田郡萩原町中呂禅昌寺門前

TEL 05765-2-3602

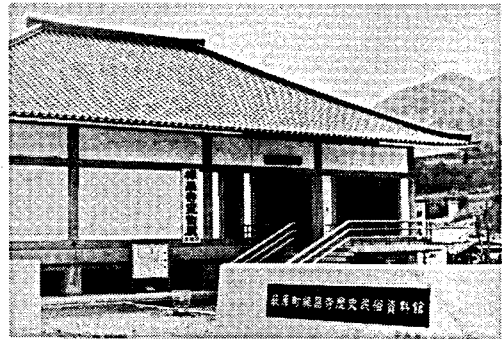
天下の10刹古禅寺として、全国的にも知られている禅昌寺は、境内に樹齢推定1,200年のスギの巨木があり、天然記念物に指定されています。創建が平安時代であり、後に戦国時代に焼失したものの、歴史が古いだけに数多くのすばらしい文化財が所蔵されています。出山の釈迦・達磨（直指人心見性成佛）など白隠のすぐれた絵画、あるいは書跡はあまりにも有名です。禅昌寺の秘仏観世音菩薩像、また釈迦牟尼仏など、どれも重要文化財に指定されています。

この萩原町禅昌寺歴史民俗資料館は、全国的に進められている地方自治体の文化財保存公開施設の資料館づくりとして実現したもので、禅昌寺に隣接して建設されています。

禅昌寺に伝わる数々の寺宝をはじめ、萩原町の旧家に所蔵されていた貴重な歴史資料を収蔵展示するのが目的で、これまで宝物蔵などに眠ったまま公開の機会がなく、多くの人々から惜しまれていただけに、地元萩原町民だけでなく、広く一般の方々にとってもうれしいことです。

展示室が1室だけで、手狭なことはいなめませんが、それをおぎなって、随時展示資料が変

(展示室内のようす)

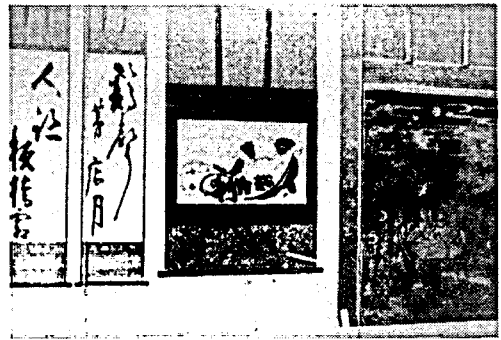


(正面入口)

えられます。禅昌寺文化財保存会の協力のもとに、その文化財を主力としつつも、町自体が調査収集してきた古文書や古美術品などをおりまぜて、これらを収蔵保存するとともに展示に生かされるとのことです。

訪れたときには、禅昌寺宝物展が開催中で、狩野永徳筆（桃山時代）菊花屏風の豪華さには圧倒されました。大涅槃図は、室町時代のもので、人物の悲しみの表情が実にうまく描かれ、画面上半分の雲の描写もすばらしく力がこもっていることが、実物を前にして肌で感じとることができました。欲を云えば、文化財の保存展示だけに終わることなく、町の歴史学習の中核機関として、豊富な資料を活用した教育活動の実践を望みたいものです。館の名まえは資料館であっても、博物館学的運営がなされてこそ、町民と密着した資料館として生きてくるのではないのでしょうか。年末年始を除いて無休、開館時刻は4月～10月 9時～17時、11月～3月 9時～16時。入館料 一般200円、小中高生100円 20人以上1割引です。

(大涅槃図などの展示)



千光寺下保森林総合案内所 展 示 館

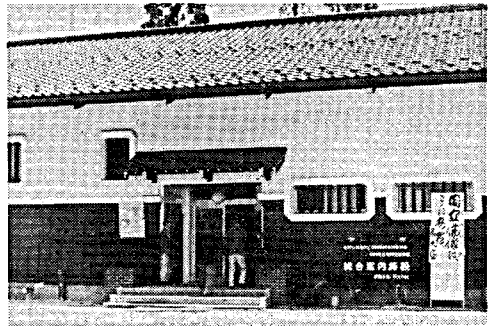
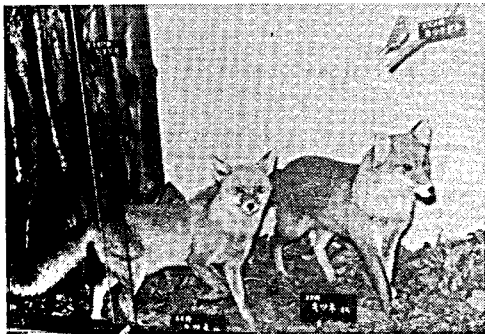
▽ 506-21 大野郡丹生川村下保

TEL 05777-8-1507

内空が長く滞在したため、50体をこす作品が残されており、円空の里として知られている千光寺は、乗鞍岳そして真正面には雄大な御岳山が望まれる標高964mの山中にあります。一帯はすばらしい樹林に恵まれ岐阜県緑地環境保全地域に指定されているとともに、特別鳥獣保護区に指定され、野鳥の森として整備されています。この恵まれた自然環境と歴史ある千光寺を有機的に結びつけ、より多くの人々に野外レクリエーションの場として活用してもらうために、下保森林総合利用促進事業が進められました。その一環として、総合案内所が建設され、館内が展示室として活用されています。やゝもすると人文系文化財の展示に終わりがちな現状の中で、ここでは千光寺をつつむ自然環境理解にも主眼がおかれているのが特色です。ジオラマ風に展示されたほ乳動物・鳥類は、ほほえましくて実に楽しいし、洗練された展示です。森林作業に使われた古い道具、千光寺周辺にみられる樹木の年輪丸太の樹種別標本、そして、今さら説明するまでもない円空上人の鉦彫り作品の傑作、両面宿禰はあまりにも有名です。

入口を入ると、まず正面に、珍しい円空の立木彫があります。野外に、実際に立っていた

(自然資料の展示)



(正面入口)

当時は、どんなに圧巻であつたらうかと、驚かされます。見上げるほどの巨大なものです。

展示館の左半分が自然及び林業関係の展示がされ、右半分が円空上人の作品を主体に人文系資料が展示されています。円空自彫像又は撫仏ともいわれている小さな資頭像(びんずるぞう)、不動明王像や護法伸、そして三十三観音像……と、円空上人の心髓ここにあり……といえます。こじんまりとよくまとまった展示館ですが、やはり展示館を見て、実際に千光寺を参拝し、整備された周辺の自然遊歩道を散策すべきです。豊かな自然の中で、円空は何を考へどんな願いや祈りをこめて、樹木に鉦をあてたのでしょうか。近代文明社会に生きる私たちは、円空の心に何を学べばいいのでしょうか。単なる野外遊びの場として訪れるだけではあまりにももったいないといえます。すばらしい文化財に接することによって、明日の自分の生きる道をこそ、みつめ考えてほしいものです。入館料は一般300円、高大生200円、小中生100円、30名以上は団体割引があります。

(三十三観音像の展示)



むかしの生産用具

老人からの聞き取りの記録

羽島郡笠松町立松枝小学校編

これはまたすばらしい…の一語につける出版物です。民俗・民芸品ブームとかで、使い古された道具類がチャホヤされる割には、表面的上すべりな資料収集や保存に終わりがちな現実の中で、ここにひとつのお手本が登場しました。学校に収集された地元の生産・生活用具の中で、まず生産用具だけに視点をしぼり、高学年の児童が古老から直接聞き取り文章記録をし、これに、資料写真、問題の投げかけ、仕事の過程・時期を示す月別カレンダー図、作業動作のカット図、その他必要に応じて図表等を配してひとつの用具を解説した心にくい編集（下図見本参照）です。米（麦）づくりの用具30点、養蚕・機織りの用具22点が収録され、巻末には歴史年表と農業・養蚕、農業・養蚕用具の使用年表

がつけられています。児童・教師の共同作品としてのすばらしさ、この学習過程の尊さは言うに及ばず、そのまとめ方は実にきめ細かく、ただ頭がさがるばかり、これこそまさしく博物館がやらなくてはならない博物館ならではの仕事といえます。資料写真の撮影、カット図の描写、ただうっとりするばかりですが、ひとつだけ注文をつけるとしたら、使用紙が悪かったこと、裏面がすけてうつつていることが惜まれてなりません。アート紙で再刊されることを切に望むとともに、続編の出版を強く期待します。ひとつひとつの用具が、これによって、ほんとうに生きかえったといえます。古きに学ぶことの尊さを教えてくれる古典といえる出版物です。

—— 編集子 ——

養蚕・機織りの用具 11

II 回転しく

まゆがきれいで早く取れるように、しくは、どんどんと発達していききました。この回転しくは、戦後の昭和二十四年ごろに使われたもので、最も新しいものです。

これまでのしくは、まゆ取りに時間がかかり、そのうえ、まゆにわらがくつついていました。そこで、この回転しくが使われたしました。

回転しくは、まず、写真上のような木わくを広げ、十文字にして固定します。そして、広げられた木わくの釘に、写真下のような厚紙で作られた箱を取りつけます。蚕は、この箱の中でまゆを作ることになるのです。

「ひとつの箱に、そうやなあ、どんぶりばち一ぱい

ほどの蚕を広げたもんやなあ」

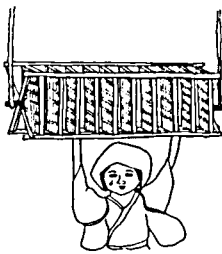
「回転しく一個には、十個の箱が取りつけられ、せまい場所でもたくさんまゆつくりがさせられるわけです。蚕が入られた回転しくは、天井からつり下げられます。」

「蚕は、上へ上へと登りたがる。すると、グルツと回転するんや。こんなことをくりか

えずと、蚕はまんべんなく広がり、穴の中でまゆをつくるのや。」

まゆどりには、穴の数に合わせてまゆ取り棒を使います。それで、**8**のしくより十倍ほど能率が上がり、わらくすもつきませんでした。

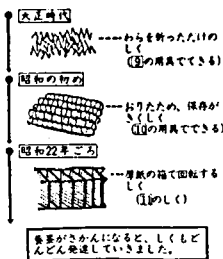
（まゆをさくたつた子たち）
六年前・笠松町松枝小学校



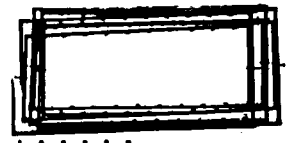
使った仕事

月	4	5	6	7
仕事		まゆ取り	まゆ取り	まゆ取り

しくのつくりかた

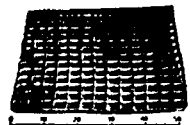


上 回転しくの木わく
下 わくに入れる厚紙の箱



使ったところ
昭和22~23年ごろ

使った地域・家
松枝校下の豊重農家の一部



● このしくは、どんなくみになっているのでも、しくを回転させると、どんどこかよつたのでしよう

昭和55年度 岐阜県博物館協会収支決算報告

収 入 総 額 1,048,526 円
 支 出 総 額 875,696 円
 差 引 残 高 172,830 円

(収入の部)

(単位 円)

科 目	予 算 額	収 入 済 額	予算額に比し、 増減(△)額	備 考
繰 入 金	206,079	206,079	0	
会 費	300,000	295,500	△ 4,500	
補 助 金	540,000	540,000	0	
要 覧 頒 布 料	28,000	3,700	△ 24,300	
雑 収 入	2,000	731	△ 1,269	
利 息	2,000	2,516	516	
計	1,078,079	1,048,526	△ 29,553	

(支出の部)

科 目	予 算 額	支 出 済 額	差 引	備 考
事 務 費	230,000	166,555	63,445	
通 信 費	170,000	122,405	47,595	
連 絡 費	10,000	0	10,000	
議 事 費	20,000	30,000	△ 10,000	
印 刷 費	30,000	14,150	15,850	
機 関 誌 費	416,660	431,104	△ 14,444	機関誌 4号分
印 刷 費	240,000	286,600	△ 46,600	ポスター印刷
送 取 材 費	90,000	59,100	30,900	全国大会取材費
取 材 費	83,660	85,404	△ 1,744	原稿謝礼
会 議 費	3,000	0	3,000	
セ ミ ナ ー 費	168,000	66,275	101,725	セミナー 5回開催
講 師 謝 金	30,000	30,000	0	
場 費	30,000	7,000	23,000	
印 刷 費	18,000	0	18,000	
通 信 費	60,000	14,000	46,000	
会 議 費	30,000	15,275	14,725	
学 芸 技 術 員 講 習 会 費	5,000	0	5,000	
会 議 費	5,000	0	5,000	
郷 土 芸 能 取 材 調 査 費	60,000	60,000	0	
三 県 交 流 研 修 費	20,000	19,520	480	(伊勢市) 2人
東 海 博 総 会 費	30,000	30,000	0	
旅 費	10,000	10,000	0	
旅 費	20,000	20,000	0	(横浜市) 1人
日 博 協 全 国 大 会 費	40,000	0	40,000	
旅 費	40,000	0	40,000	
總 会 費	25,000	37,780	△ 12,780	
通 信 費	5,000	5,000	0	
會 場 費	6,000	6,000	0	
印 刷 費	9,000	9,000	0	
茶 菓 費	5,000	17,780	△ 12,780	
役 員 會 費	45,000	43,977	1,023	役員会 4回
表 彰 費	15,000	16,600	△ 1,600	
振 替 手 数 料	4,000	3,885	115	78件
慶 弔 費	15,000	0	15,000	
予 備 費	4,419	0	4,419	
計	1,078,079	875,696	202,383	

昭和56年度 岐阜県博物館協会収支予算

(収入)

(単位 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	差引増減(△)	備 考
前年度より繰越	172,830	206,079	△ 33,249	岐阜県 440,000円 岐阜市 100,000円
会 費	414,000	300,000	114,000	
補 助 金	540,000	540,000	0	
要 覧 頒 布 料	2,800	28,000	△ 25,200	
雑 収 入	1,000	2,000	△ 1,000	
利 息	2,000	2,000	0	
計	1,132,630	1,078,079	54,551	

(支出)

科 目	予 算 額	前年度予算額	差引増減(△)	備 考
事 務 費	270,000	230,000	40,000	機関誌 4回 全国大会取材 機関誌取材旅費 原稿謝金 6回開催 愛知県 1人 瑞浪市 3人 東京都 1人
通 信 連 絡 費	200,000	170,000	30,000	
会 議 費	10,000	10,000	0	
印 刷 費	30,000	20,000	10,000	
需 用 費	30,000	30,000	0	
機 関 誌 費	400,000	416,660	△ 16,660	
印 刷 費	200,000	240,000	△ 40,000	
送 取 材 費	90,000	90,000	0	
取 材 費	90,000	83,660	6,340	
会 議 費	20,000	3,000	17,000	
セ ミ ナ ー 費	160,000	168,000	△ 8,000	
講 師 謝 金	30,000	30,000	0	
会 場 費	30,000	30,000	0	
印 刷 費	10,000	18,000	△ 8,000	
通 信 連 絡 費	60,000	60,000	0	
会 議 費	30,000	30,000	0	
郷土芸能取材調査費	60,000	60,000	0	
三 県 交 流 研 究 費	14,000	20,000	△ 6,000	
東 海 博 総 会 費	52,000	30,000	22,000	
会 費	10,000	10,000	0	
旅 費	42,000	20,000	22,000	
日 博 協 全 国 大 会 費	39,000	40,000	△ 1,000	
旅 費	39,000	40,000	△ 1,000	
総 会 費	48,000	25,000	23,000	
通 信 費	12,000	5,000	7,000	
会 場 費	6,000	6,000	0	
印 刷 費	10,000	9,000	1,000	
食 糧 費	20,000	5,000	15,000	
学 芸 技 術 員 講 習 会	10,000	5,000	5,000	
会 議 費	10,000	5,000	5,000	
役 員 会 費	40,000	45,000	△ 5,000	
表 彰 費	20,000	15,000	5,000	
振 替 手 数 料	5,000	4,000	1,000	
慶 弔 費	10,000	15,000	△ 5,000	
予 備 費	4,630	4,419	211	
計	1,132,630	1,078,079	54,551	

展示解説の基本的かまえ

～ いわゆる解説員の解説について ～

岐阜県博物館学芸員 小野木 三郎

突然に、「展示室の解説を、時間がないから1部屋20分で、時には10分でやってくれないか」と頼まれることがある。各コーナーのタイトルと解説文を読んで行くだけでも、15分や20分ではすまないのである。そんな短時間のことなら、自分で読んでまわるだけでも足りないはずである。しばしば、展示解説とは何であるのか、考え込んでしまうのである。

●展示とは何だろうか。

公立館園であろうと私個人の施設であれ、博物館である限り、その展示は、単なるものの陳列であっていいはずがない。ものを並べて見せることなら、町の八百屋さんでも都会の百貨店でもやっている。八百屋の果物陳列場で、買う気持ちが全くなく、実物を手にしつつ、外国産の初めてみる果物について、形や色や……あれこれ知識を吸収し、自己勉強をしたとしたら、これはもう立派な博物館学習をしたのである。展示とは、意味のある表示、目的のある陳列だと云われるが、百貨店でも、少しでも多く売っていくようと、あれこれ苦心して並べているから立派な展示といえる。だとすると、博物館ならではの展示の特色は、ただ一点「目的をもって教育的に見せること」につきる。

●博物館での教育とは？

とても一口では表現できないが「ものに近づき、見ることによって、自発的に興味と関心を持ち、ものの本質や美・真理、その背後にあるものを学び、よりよき生活に役立たせる自己学習、伝統文化伝達型の教え込み方式の教育を越えた発見の学習、文化創造型の教育」といえる。しかも、来館者は、◎まったく自由な個人で、幅広い年齢層、広範囲な教養度と変化に富んだ不特定多数である。◎何の強制を受けることもなく、全く自由な時間を過ごすことができる。

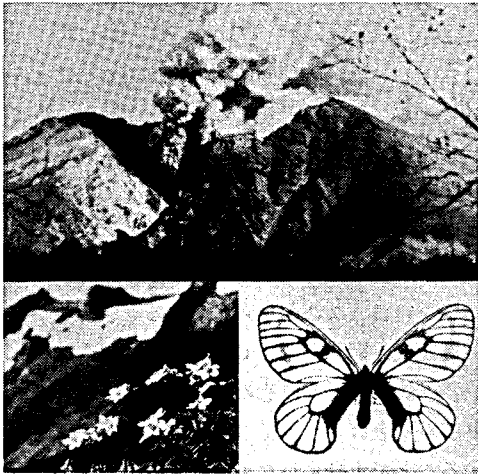
◎ストレス解消・気分転換・娯楽のためにもやってくる。◎何の責任もなく、どこのだれかを示す必要もない。◎意欲の強弱・知的水準の高低に応じて、どれだけでも好きなように学習できる。……といった状況にある。

●展示解説とは

以上のようなことを考えてみると、●コーナー解説文と同じ内容をしゃべるのでは意味がない。●展示資料そのものの学問的な説明、深まり広がりやねらう解説なら、展示解説書を手にすることで十分まかなえる。●機器利用の説明(AUDIO-GUIDE)を、各コーナーに整備すれば、いつ入館しても、個人的といえる解説サービスが、音楽・音響効果つきでドラマチックに行なえる。●パスガイド的な一斉解説案内では、博物館ならではの本質的な自己学習に十分こたえられない。

いわゆる解説員という人がいて、人でなくてはできない展示解説とは、◎画一的・全体的に教え込む資料説明ではない。◎相手に応じ(興味と関心、学習意欲、知的水準等)柔軟性をもって、その場その場で、自己学習することの楽しさを教えまた援助することにつきるはずである。そのためには、人間性と心理学の知識・技術・教育学の知識と技術、そのうえに学問的な資料の専門知識をバックボーンとして必要とする。そして、◎通り過ぎようとする人の目を止めさせる。◎注意を促し、関心を高め、より深く観察させるようにする。◎ものへの好奇心をほりおこしゆさぶる。◎驚きの感情を呼び起こさせる。◎疑問を抱き自由に質問することをうながす……ことにこそ最大の努力をすべきである。展示解説とは、博物館教育活動の最前線であり、最も重要な分野でありながら、一番その実践研究はなされていない現状である。

県博特別展「御岳山は生きている」
へどうぞ



関市小屋名百年公園内の岐阜県博物館では、来る7月21日～9月6日まで、「御岳山は生きている — 大地と花と動物たち —」を開催します。人間が、勝手に死んだ火山だときめつけていた霊峰御岳山が、一昨年の秋、突然噴火したことは記憶に新しいことですが、これも自然の歴史からすれば当然の一駒にすぎません。そのことにすら気づかないほど、科学時代といわれる今日でも、自然史科学的な自然の見方は忘れられています。その意味からも、御岳山の自然を、地学、動・植物学の面から総合的に紹介する今回の特別展は、岐阜県博物館ならではの企画であるし、郷土の自然を科学的に知る催し物として期待されます。御岳山のなりたちと噴火、その大地に生きている動植物のようす、これらの資料が語りかける自然史のドラマを、ぜひ会場でご覧ください。

会期中には、8月16日(日) 講演会
御岳山の生い立ちと噴火 富山大学小林武彦
助教授 講堂 1時30分より
8月2日(日) 現地自然観察会
場所 御岳自然休養林 濁河温泉現地集合
(上記催し物の詳細は芸芸部教育普及係までお
問合わせください。)

日曜映画会 御岳火山活動、御岳山の植物等
のスライド上映及び自然に関する
映画の上映があります。

規約の一部改正について

本協会の規約の一部が、先の総会において改
正されました。

(旧)

第3条 本会は次の会員をもって構成される。

1. 正会員 岐阜県内の博物館および類似施設、個人会員をもって正会員とする。

(新)

第3条 本会は次の会員をもって構成する。

1. 正会員 岐阜県内の博物館および類似施設、ならびに個人会員で、会費を納めた者をもって正会員とする。

東海博連絡協議会総会本県で開催

去る6月25日26日、瑞浪市化石博物館を総
会会場として、東海地区博物館連絡協議会総会
が開催されました。施設見学として、瑞浪陶磁
資料館、日吉ハイランド日本刀鍛錬場、郷土館、
美濃歌舞伎博物館(懇談会々場)、翌26日には
細久手、大湫宿、妻籠宿、馬籠宿など初夏の東
濃路史跡めぐりが行なわれました。

編集後記

◎発行の遅れをまずおわびいたします。正
直なところは、原稿不足に悩んでいます。
年四回の季刊、原稿メ切りは特に設けてあ
りませんので、気軽にどんどご寄稿くだ
さい。自慢の資料紹介、日頃思うこと、実
践報告、苦心談、何でも結構です。

◎本年度は今後、55号8月、56号11月、
57号2月に発行の予定です。(S.O)